

第11回四国サミットを高松で開催!

去る9月13日(土)、香川県高松市及び直島町において『四国ブロック青年部協議会 第11回四国サミット』が開催されました。当日は全管連青年部協議会の中島会長を始め、四国から高知市・愛媛県・徳島市、九州からは福岡市・大分市の会員の方に集合して頂きました。

開催地の直島の隣に浮かぶ豊島(面積/14.61平方メートル 周囲19.8km 人口/1430人)は、今をさかのぼる事1978(S53)年~1990(H2)年までの13年間に悪質な事業者に因る不法投棄とそれを当時の香川県が擁護したことによって有害な産業廃棄物(重金属や有機塩素系化合物、ダイオキシン等の各種の有害物質が相当量含有)が野焼きされた事件があった島です。戦後最大級の不法投棄事件、豊島(てしま)問題です。

現在は香川県が過失を認め今回の見学地である直島環境センターを造り、豊島から廃棄物をフェリーで運び込み1300℃を超える高温による焼却・溶融方式によって処理し、その副産物の再生利用が進められている状況です。順調に進んでる様には見えますが、中には廃棄物によって汚染された土壌も含まれており、残りの廃棄物等にはそれが多く処理が難しい土壌が6割も含まれる

そうです。残りの約23万トンの廃棄物処理が難しい状況が続いております。

本来なら香川県の『陽』の部分を見学する時間も取りたかったのですが、懇親会を控えてのフェリーの時間と団体での鑑賞には他のお客様との兼ね合いで制限が入ってしまい、断念せざるを得なかった事が一番の心残りです。

懇親会は、当親会の岩井理事長に挨拶を頂き、全管連副会長・高松相談役の中川副会長の乾杯で始まり、和気あいあいとした中にも活気があり改めて四国は一つだと再認識出来る懇親会になったと思います。

最後の締めには次期開催県である徳島より野林副副会長に挨拶を頂き、盛況の内にお開きとなりました。

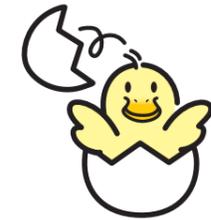
前回の『うどん』からの『産廃とアート』、高松のおもてなしは十分ではなかったかも知れませんが、良いトコロも悪いトコロもひっくり返る地元の地元です。

敢えて『陰』と『陽』を前面に出すことによってそれぞれの特色が浮かび上がり参加された一人一人の意識と思いに繋がって行けたのではないかと四国サミットで友澤理事(高松)



全管連青年部協議会

アヒルのたまご



平成27年
(2015)
1月16日
金曜日

No 52

<http://www.zenkanrenjr.jp>

平成27年 年頭のご挨拶

「新年のご挨拶を申し上げます。 本年も何卒よろしくお願い申し上げます。」



平素は全管連青年部協議会活動に対し、ご支援、ご協力を賜り改めて御礼申し上げます。

私が会長職を拝命してから三年が過ぎ、新しい可能性を探る一年として協議会会員一丸となって、高め合う、高め合える、そんな一年にしたいとの思いをこめ、今年度の活動テーマとして「追求 ~高め合おう~」というテーマを掲げました。



中島会長

私たちは、全国において昼夜を問わずライフラインを守っている姿、技術の秀逸さ、あるいは高める為に組織だって日々研鑽している姿、災害時の対応についても、連携して準備している姿など、信念と覚悟を持つ誇り高い集団であるという姿を発信していく必要と共に、同時に地域、技術、連携といった「力」を高め続ける事こそが、人材確保、技術の向上につながり、ひいては地域に貢献できると考えます。

変化に富み、価値観の変容も激しい昨今、私たち組



埼玉総会で初めて献血活動を実施

合員に必要な課題は多様となります。ただ、地域において地道に誠実に信念を持って行動してきた誇り、また、差別化という意味でも、「地域力」という地域に貢献する力、発信する力。「技術力」という安心を担保する力。「連携力」という一丸となって課題に取り組む力に磨きをかけ、歴史と今を積極的に発信していくそんな一年になるよう活動していく事を目指したいと思います。アベノミクスによる好景気という活気がある今だからこそ、次の時代に備え大胆かつ生真面目に取り組む団体として活動していけたらと思います。実りある一年を目指し共に頑張りましょう。

最後になりますが、全国の会員の皆様の大きなご活躍をお祈り申し上げるとともに、親会ならびに関係各位にはこれまで以上のご支援、ご協力を切にお願いし年頭のご挨拶とさせていただきます。

全国管工事業協同組合連合会青年部協議会

会長 中島 誠照



第18回通常総会(埼玉)

選べるすっきり3タイプ、サティス。



お掃除リフトアップで
すき間の拭き掃除も、サッと一拭き

リモコンボタンを押すだけで、機能部がリフトアップ。しっかりあがりすき間汚れも奥まで簡単に拭き取れます。(特許取得済み)
※Eタイプは手動です。

LIXIL
INAX



タンクレストイレ サティス

SATIS

SATISの驚きの性能はこちらから

サティス 検索

株式会社 LIXIL お客さま相談センター(INAXブランド) ☎ 0120-1794-00 受付時間: 平日 9:00~18:00 土・日・祝日 9:00~17:00

私たちは、優れた製品とサービスを通じて、豊かで快適な住生活の未来を創造する住まいと暮らしの「総合住生活企業」です。

「会員交流事業を大分で開催」 大分市青年部のおもてなし

— 第20回通常総会開催が東京都に決定 —

11月8日(土)、全管連青年部会員交流事業を大分県大分市の大分オアシスタワーホテルにおいて開催しました。今回は、大分県における初の開催事業であり、地元大分市青年部と全管連青年部の交流を目的として、全国の青年部から会員38名の参加がありました。近年、会員交流事業の参加者は40名前後と増加しており、本会事業が全国の会員の方々に理解を頂いていることがうかがわれます。

7日(金)は翌日の正副会長部会長会議の前日入りで、中島会長(名古屋)、田村副会長(徳島)、地元の大分市青年部(大分)、仲村職員とともに、大分市管工事協同組合を表敬訪問させて頂き、姫野事務局長、板井総務課長とともに、大分市の管工事業の現在の状況について意見交換を行い



大分市青年部 大仲理事



大分市組合を表敬訪問

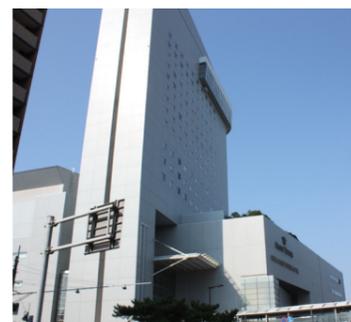


第94回理事会

ました。その後は、夕方入りした正副会長部会長等とともに、懇親会を行い、懇親を深めました。

8日(土)は午前中に正副会長部会長会議を開催し、理事会の進行を確認しました。その後開催された「第94回理事会」では、今年度の各事業の進捗状況の報告や会員交流事業の今後のスケジュールを確認しました。続いて、第20回通常総会について、開催地の立候補について審議を行ったところ、村上事業副部会長(東京)の地元である東京が開催地となりました。1年後の平成28年が開催年となりますが、記念式典へ向けて皆様のご協力をお願いします。

その後、別府温泉の視察がスタート!この別府温泉の視察は非常にタイトなスケジュールとなっていますので、団体行動を乱すことはできないと理事の間に緊張感が漂っていました。「海地獄」「血の池地獄」を視察しましたが、大分市の「色だけ確認してください!」という言葉通り、温泉の色を確認し、集合写真をさっと撮り終えて、バスへと乗り込みました。あわただしい中、研修のメインとなる「明礬(みょうばん)温泉」へと移動しました。ここでは、皆さんお楽しみのお風呂タイムとなり、日ごろの疲れを癒していました。お風呂に入らない方はお土産を購入しました。この視察について、地元大分市青年部が何



会場の大分オアシスタワーホテル



海地獄で慌ただしく集合写真

日も視察を行うなど、開催へ向けてのご協力を頂きました。視察終了後は、ホテルへ戻り研修会「大分市青年部の活動状況」について報告を行いました。



小野理事長

引き続き、お待ちかねの懇親会が始まり、大分市管工事協同組合の小野理事長より来賓のご挨拶を頂き、続いて大分市の乾杯のご発声で、それぞれのテーブルで名刺交換が始まりました。そして、美味しいお酒に舌鼓を打ちながらほろ酔いになっていたところ、中島会長よりサプライズがあるとの報告が!話を聞くと、何と日下理事(福島)が婚約したという情報が発表され、結婚のお祝いと一言スピーチがありました。日下理事は「facebook」で情報発信した所、青年部の会員が婚約を知りましたので、「facebook」にはこのような利点があると改めて認識しました。

懇親会の締めを佐藤理事(京都)に行き、懇親会は終了!と同時に、2次会のスタートです。皆様宿



日下理事(福島・左)に婚約のお祝い



明礬温泉で一息



プロジェクターを使用した研修会の様子

泊しているとあって、うきうきしながら2次会スタート。その後3・4次会まで行われ、会員間の懇親を深めました。

最後に、このような素晴らしい事業を開催するにあたり地元大分市の青年部の皆様に改めて感謝申し上げます。今後とも本会事業にご協力を頂ければと存じます。
川又事業部会長(川崎)

編集後記

さて皆様、平成27年が始まりました。アベノミクス効果がじわじわと広がっているのを実感する今日この頃であります。全国の皆様と共にこの久しぶりの波に乗り、青年部協議会の会員拡大につなげていきたいですね!
佐藤義晴(総務副部会長)

低層集合住宅用・複式メータボックス

クワトロ Quattro

メータユニット一体型で
1つのメータボックスに
最大4つの量水器を設置可能!



- 東京都水道局登録済
- 多数の水道事業者からも許認可取得済

集中検針が可能!
量水器の取替え作業もラクラク!

省施工で
施工時間を短縮!

省スペースで
置面積が従来品より削減!

水と暮らしを結ぶ
株式会社 タブチ
商品のお問合せは
0120-481-130
〈本社/工場〉〒547-0023 大阪市平野区瓜破南2丁目1
TEL 06-6708-0150(代) FAX 06-6708-0210

検索機能充実の WEBカタログ はホームページから!
TABUCHI WEB CATALOG
ホームページはこちら